

## I 芸術運動家 花田清輝

- 芸術運動とは何か (対話者) 花田清輝……………10
- 芸術運動家としての花田清輝……………41
- 対立物を対立したまま統一する花田弁証法の実践……………41
- 花田清輝の論争について……………93
- 「転向」イデオロギーとの闘い……………93
- 東洋の論理——その今日の意味 (対話者) 花田清輝……………136

## II 戦後史の鏡としての文化・芸術

- 戦後の日本映画に見る在日コリアン……………158
- 『にあんちゃん』から『パッチギ!』まで……………158
- 真に悼むべき「死」とはなにか……………162
- 『紙屋悦子の青春』『出口のない海』『蟻の兵隊』『出草之歌』を見る……………162
- 日本映画に見る戦争・戦後責任と天皇制 (聞き手) 『前夜』編集部……………180
- 映画が突きつけるもの、観客が問い返すべきもの (対話者) 井土紀州……………202
- 『レフトアローン』をめぐる……………202
- 歴史としての戦後演劇 (聞き手) 大岡 淳……………218
- 千田是也をめぐる……………218
- 記録のアクチュアリティを求めて (聞き手) 森山直人……………241
- 「記録芸術の会」結成時の問題点……………281

### III 実生活者意識から創造者意識へ

創造運動の方向	290
労働者文学の再検討	295
実生活者意識から創造者意識へ	299
創造運動の出発点	308
ズリ山の火を消すな	316
サークル運動への提言	345
職場における文学運動	359
全通の文化活動はこれでよいのか	370
——書き手はもつとしなやかで鋭い批評のことはを創り出そう！	
総合サークル運動と労働者の文化	392

労働者の戦争体験と文学	404
-------------	-----

——労働者詩人濱口國雄の反戦詩について

革命文学の主軸に労働者の文学をどう位置づけるか	413
-------------------------	-----

——歴史の経験から引出される現在の課題

### IV きみは先頭に立たねばならぬ

教育を受ける権利	444
『思想運動』『社会評論』はわれわれの運動の基軸	461
——機関紙誌活動強化のために	
『前夜』読書アンケート	488
一、〈文化と抵抗〉	
二、〈いま、天皇制を問いなおす本〉	490
「真実」の力、「思想」の息吹き	492
(対話者) 鎌田哲哉	
あとがきに代えて	512